

令和 3年度（2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	公共交通の利便性の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	人と環境にやさしい、持続可能な公共交通サービスの導入		事業実施主体	市
	事務事業	公共交通維持改善事業（交通政策課分）		事業期間	平成29年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	生活バス路線への運行補助、ノンステップバス購入に対する補助などを行うことで、公共交通の維持や利便性の向上を図り、良好な交通環境を確保する。 ・生活バス路線補助（路線バス及びコミバス等に対する運行補助、コミバス等の導入検討及び試験運行に対する支援、ノンステップバス減価償却費補助等） ・IruCaシステム運用支援（機器補助、割引差額補助） ・パークアンドライド駐車場管理				
3年度概要	生活バス路線への助成 コミュニティバス施設等管理費 離島航路への助成 パークアンドライド駐車場管理費				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「公共交通の利便性の向上」及び「地域主導型の持続可能な公共交通の構築」を図ることで、移動しやすく利用しやすい交通環境を確保し、公共交通に対する満足度を高める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
コミュニティバス等利用促進協議会開催回数	回	7	7	8	8	8

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
公共交通機関利用率	%	目標値	15.7	15.9	16	16.2	16
		実績値	15.2	15.3	11.5		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 当該指標は、平成19年度を基準年度とし、毎年度一定の利用者増を目標に掲げている。公共交通利用者は、平成20年代初期の一時的な減少から、近年増加傾向に転じていたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度に比べて、1日当たり15,890人減少し、利用率も11.5%と目標の達成に至らなかった。		(目標達成度)					(達成度) 71.9% 25点
地域と連携したコミュニティ交通路線数	路線	目標値			5	5	5
		実績値			2		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） コミュニティバス等の運行を希望する地域住民に対し、ふれあいトーク等で、地域が主体的に関わるコミュニティ交通の必要性などを周知・啓発するとともに、導入に向けた活動を行う地域に対し、試験運行の補助などの支援を行った。		(目標達成度)					(達成度) 40.0% 14点

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）
トータルコスト	[千円]	104,526	118,755	133,575	150,162
（事業費）	[千円]	91,671	105,476	112,326	127,043
（職員人件費）	[千円]	12,855	13,279	21,249	23,119

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

ノンステップバスの導入補助や公共交通空白地域に対するコミバス等の運行導入支援など、良好な交通環境の確保に努めたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度から継続して実施していた試験運行や導入検討などの活動が停滞してしまった。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

平成31年3月に改定した、「高松市地域公共交通再編実施計画」に基づき、公共交通空白地域における移動手段を確保するため、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、コミバス等の運行に対する導入支援制度等を活用し、地域が主体となって運行するコミュニティバス等による持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けて地域と一緒に取り組んでいく。

令和 3年度（2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	公共交通の利便性の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	人と環境にやさしい、持続可能な公共交通サービスの導入		事業実施主体	市
	事務事業	公共交通利用促進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	多様な交通手段が有機的に連携した、いつまでも快適で人にやさしい都市交通の形成を図るため、過度に自動車に依存しない本市の目指すべき都市交通の将来ビジョンを明らかにした「総合都市交通計画」や、平成25年9月に公布・施行した「公共交通利用促進条例」に基づき、各種施策・事業の推進や市民啓発活動を行う。				
3年度概要	総合都市交通計画推進協議会 公共交通利用促進事業（鉄道・バスノバス・バス乗継割引、高齢者割引） バス補助金等（バス待ち環境、バスマップ、R2バスマップ（線）） その他 事務的経費等（旅費、負担金）				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	総合都市交通計画や公共交通利用促進条例の理念に基づき各種施策を展開することにより、公共交通の利便性向上と利用促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
総合都市交通計画推進協議会開催回数	回	3	3	3	3	3

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
施策全体の満足度（市民満足度調査）	%	目標値	23	24	25	28.1	25
		実績値	19.7	21.1	20.2		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 各種施策・事業の推進を通じた、公共交通の利用に対する機運の醸成等により、「公共交通の利便性の向上」に係る市民満足度については増加していたものの、令和2年の新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の乗り控えが起きているものと考えられ、目標値の達成には至らなかった。		(目標達成度)					(達成度) 80.8% 28点
成果指標名（どのような成果が得られたか） 公共交通機関利用率	%	目標値	15.7	15.9	16	16.2	16
		実績値	15.2	15.3	11.5		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 当該指標は、平成19年度を基準年度とし、毎年度一定の利用者増を目標に掲げている。公共交通利用者は、平成20年代初期の一時的な減少から、近年増加傾向に転じていたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度に比べて、1日当たり15,890人減少し、利用率も11.5%と目標の達成に至らなかった。		(目標達成度)					(達成度) 71.9% 25点

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）
トータルコスト	[千円]	234,264	166,065	130,443	130,911
（事業費）	[千円]	228,214	160,374	126,103	125,524
（職員人件費）	[千円]	6,050	5,691	4,340	5,387

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新型コロナウイルス感染症に対する交通事業者の取組や、コロナ禍における乗り方について広報誌を活用し、利用者に周知・啓発を行った。  
 利用促進に資する施策として、バス・バス乗継割引を行うためイルカシステム改修に対する補助を行うとともに、令和2年12月1日から、路線バスとコミュニティバスを乗り継いだ場合、運賃が100円引きとなる、バス・バス乗継割引を開始した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

新型コロナウイルス感染症の影響による、学校の臨時休業や外出自粛などに伴い、公共交通の利用者が大幅に減少しており、収束後に利用者数を回復させるため、交通事業者など関係機関と連携し、利用促進に資する新たな施策の取組を検討する必要がある。

令和 3年度 ( 2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	都市計画課
	施策	公共交通の利便性の向上		電話番号	087-839-2455
	基本事業	人と環境にやさしい、持続可能な公共交通サービスの導入		事業実施主体	市
	事務事業	公共交通維持改善事業(都市計画課分)		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	公共交通を維持し、良好な交通環境を確保するため、鉄道事業者が実施するバリアフリー化事業費の一部を支援する。また、公共交通利用者への利便性の向上のため、パークアンドライド施設の維持管理を実施する。				
3年度概要					
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	鉄道事業者(琴電・JR)が管理する施設
意図(どのような状態にしたいか)	鉄道事業者(琴電・JR)が実施する駅施設のバリアフリー化(スロープ・点字ブロック・手摺・多目的トイレ等の設置)の推進を目的とし、補助金を交付する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
成果指標	バリアフリー化率	%	目標値	40.5	52.4	52.4	52.4	64.3
			実績値	40.5	52.4	52.4		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 令和2年度は、鉄道事業者による事業計画の検討を実施しており、事業の実施はなかった。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
トータルコスト	[円]	15,803	8,582	0	0
(事業費)	[円]	8,014	6,533	0	
(職員人件費)	[円]	7,789	2,049	0	0

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)	令和2年度以降について、整備効果を含め優先順位を交通事業者において検討中である。		
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)	駅施設等のバリアフリー化を引き続き推進し、公共交通利用者の利便性向上を図る。		